

浴槽水からのレジオネラ属菌検出についてのお知らせ (附属介護老人保健施設)

令和8年8月26日に当院附属介護老人保健施設（以下、「当施設」という。）の浴槽水について水質検査を実施したところ、令和8年9月9日付の検査結果において、わずかではありますが基準値を超える**レジオネラ属菌が検出された**（検出値 10 CFU/100 mL、基準値 10 CFU/100 mL 未満（実質的に「不検出」））ことが判明いたしました。

入所者様、ご家族の皆様には、ご心配とご不安をおかけすることとなり、心よりお詫び申し上げます。

当施設では、今回の検査結果を重く受け止め、入所者様の安全を最優先に、所轄保健所へ相談し、指導を受けながら、速やかに必要な対策を進めております。

1. 現在の対応について

レジオネラ属菌が検出された浴槽については、**現在、使用を中止しております。**
今後、浴槽および関連設備について必要な洗浄・消毒等の対策を実施したうえで、改めて水質検査を行う予定です。

現在のところ、令和8年9月16日に浴槽の配管洗浄および再検査を実施する予定としております。また、再検査の結果速報については、令和8年9月24日に発出される予定です。なお、これらの日程については、今後の状況等により変更となる場合があります。

→ (令和8年9月25日追記)

配管洗浄、水質再検査を実施し、検査結果は「10 CFU/100 mL 未満（実質的に「不検出」）」（速報値）となり、基準値を下回りました。

当施設では、再検査の結果を確認し、安全が確認された後に浴槽の使用を再開する方針としております。

また、現時点では、当施設においてレジオネラ症を疑うような体調不良者は確認されておられません。

今回の検査結果については、所轄保健所へ相談し、対応について指導を受けております。保健所からは、現時点では行政への報告を要する事案には該当しないとの見解をいただいております。

2. 今後の再発防止について

今回の事態を重く受け止め、再発防止のため、以下の取り組みを強化してまいります。

- 浴槽・浴槽配管等の洗浄および消毒の徹底
- 浴槽水の水質管理および定期的な水質検査の実施
- 給湯・循環設備等の点検
- 必要に応じた設備・機器類の更新

- 日常的な衛生管理・設備管理体制の見直し
- 職員に対する衛生管理の教育・周知の徹底

今後も浴槽水を含む施設内の衛生管理および設備管理をより一層徹底し、入所者様に安心して施設をご利用いただける環境の確保に努めてまいります。

3. レジオネラ属菌・レジオネラ症について

レジオネラ属菌やレジオネラ症について、詳しくお知りになりたい方は、以下の公的機関の情報をご覧ください。

厚生労働省「レジオネラ症」

レジオネラ症とは何か、症状、感染経路、治療、感染リスクが高い方などについて、Q&A形式で分かりやすく説明されています。

[厚生労働省「レジオネラ症」Q&A](#)

国立健康危機管理研究機構「レジオネラ症」

レジオネラ症の概要、感染経路、潜伏期間、症状、予防法などについて詳しく説明されています。

[国立健康危機管理研究機構「レジオネラ症」](#)

4. 入所者様・ご家族の皆様へ

今回の検査結果により、入所者様、ご家族の皆様にはご心配をおかけすることとなりましたことを、重ねてお詫び申し上げます。

当施設では、今回の事態を教訓として、衛生管理および設備管理を改めて見直し、入所者様の安全を第一に、再発防止に取り組んでまいります。

今後、対策の実施状況や再検査の結果など、皆様にお知らせすべき事項が生じた場合には、改めてご案内いたします。

ご不明な点やご心配なことがございましたら、施設職員までお申し出ください。

令和8年9月10日

独立行政法人地域医療機能推進機構
三島総合病院
院長 赤倉 功一郎

独立行政法人地域医療機能推進機構
三島総合病院附属介護老人保健施設
施設長 寺田 享志